

血清ペプシノゲン検査を受けてみませんか？

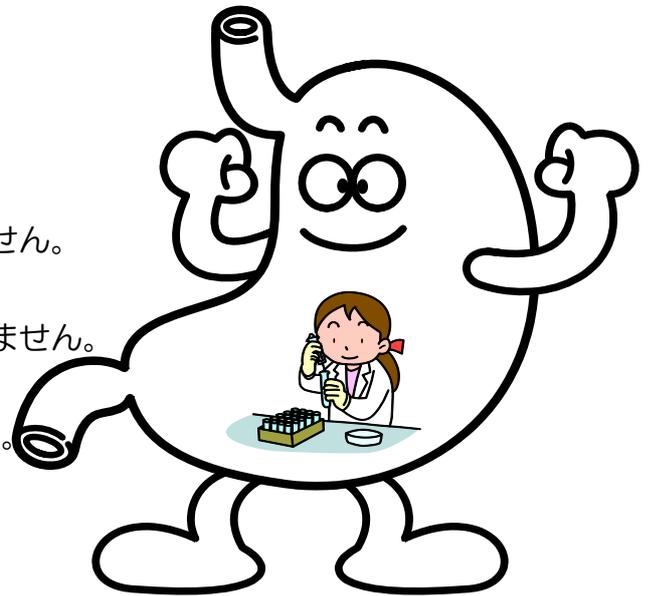
胃がんになりやすい胃がわかります。

● ペプシノゲン検査（PG検査）は、胃粘膜の萎縮の程度を評価する血液検査法です。

- ◆ 胃がんは日本人に多いがん（罹患率が高い）であり、死亡率も高いがんです。
 - 胃がんの多くは、萎縮した胃粘膜から発生します。そのため萎縮の程度が高いと、胃がんになる可能性が高いと言えます。ペプシノゲン検査は、胃がんの発生母地である萎縮粘膜の状態を評価する検査です。

● ペプシノゲン検査のメリット

- ◆ 検査が受けやすい。
 - 定期健康診断の採血量で検査が可能です。
PG検査のために血を多く採る必要はありません。
 - PG検査のみの場合では、食事の制限がありません。
 - バリウムや胃カメラを飲む必要がありません。



● 注意点

- ◆ 胃がん自体を直接検査しているわけではありません。
 - 胃の萎縮を調べる検査で、胃がんを特定する検査ではありません。
そのため、結果が『陽性＝胃がん 陰性＝胃がんではない』ということでは無く、胃がんの高危険群であるかどうかを判断する検査です。
 - 胃がんの中には、萎縮粘膜に関係無く発症する型の胃がんもあり、PG検査では指摘できないことがあります。
 - 胃透視検査（バリウム検査）との併用をお勧めします。

 一般財団法人 九州健康総合センター

〒805-0062 北九州市八幡東区平野一丁目11-1

TEL:093-672-6210

FAX:093-681-3495

E-mail: kyuken03@kyuken.or.jp URL: <http://www.kyuken.or.jp/>